

## ■屋内緑化コンクール2017 受賞結果一覧

今回の受賞においては、農林水産省局長賞以外は順位は設けず、審査日：平成29年8月22日  
 賞を提供して下さった団体にふさわしい作品を選び、応募点数：46点  
 団体の設立順に掲載しました。審査委員：近藤三雄 東京農業大学名誉教授（審査委員長）、安藤敏夫 千葉大学名誉教授、飯島健太郎 東京都市大学 環境学部 環境創生学科 教授  
 町田ひろ子 町田ひろ子アカデミー代表取締役、槇島みどり 東京農業大学客員教授、景観デザイナー、藤田茂 屋内緑化推進協議会理事

授賞作品	No	タイトル	所在地	受賞者	受賞理由
農林水産省 生産局長賞	31	ブランド市川レ フィール Re:sort マンション ～自分自身を取り 戻す住まい～	千葉県市 川市	東急不動産株式会社 ・安田不動産株式会 社 ・株式会社パー ク ・コーポレーショ ン	内と外の境界を感じさせない植物とソファのレイアウトや、壁面緑化に囲まれ手配置されたインフォメーションがエントランスを緑あふれる快適な空間として演出されている。壁面緑化はその足元にある緑とつながり、不自然さを感じさせない工夫がされている。局面のコンテナに囲まれたソファは、そこで過ごす中で植物を見たり触ったり、コミュニケーションが生まれる空間になっている。演出力、植物量共に優れた事例として高く評価され選ばれました。
(一社)日本インドア・グリーン協会理事長賞	1	S社 インドアガ デン	東京都渋谷区	en景観設計株式会社	オフィス内に託児所を設けるなど、働く人達の心地よい環境作りに積極的な企業のオフィス緑化である。オフィスで働く人や来社する取引先の方が、心地よい空間でリラックスしながら働ける空間となっている。約300坪のオフィスに密度の高い植栽を点在させることで、そこにいる人が緑に囲まれた空間を感じられるようになっている。植物を群で配置することで従来の貸鉢の点在とは根本的に異なる空間を演出している。インテリアグリーンの新たな空間演出につながるため選ばれました。
(公社)日本家庭園芸普及協会会長賞	43	東京一軒家 はな まねき	東京都世 田谷区	旭化成ホームズ株式 会社東京デザインオ フィス ADDReC Design firm 株式会社パーク・ コーポレーション	「花と緑と暮らす」をコンセプトとした住宅で町と家を緑で柔らかくつなぐ工夫がされている。地上から屋上まで、また屋外・バルコニー・屋内と緑をあらゆる場所に配している。交差点角の緑はライトアップされビューポイントとなっており、グリーンウォールは夜には家の中から緑を通した柔らかい光が外に漏れ出し、昼は外の光が家に入る。屋内の緑もライトアップや風で揺れるグリーンの木漏れ日など、住む人に緑を満喫させることができる演出がされており、今後このような住宅が多く出現することを願って選ばれました。
(一財)日本花普及センター会長賞	10	横浜ランドマーク タワー屋内緑化	横浜市西 区	株式会社サカタのタ ネ	「花緑による横浜づくり」の発信地として位置づけられる、施設に付加価値をもたらす植栽を行っている。大規模空間であり屋内と言え多くの光が得られることにより、根鉢付きの花物だけでなく一部切り花を織り交ぜた演出をしている。通勤者や訪れる人のメインの動線上にあり自治体から沿道緑化の一環として補助金の対象にもなった。年間を通し様々な花・緑のイベントを実施しており、花の普及に努める会の目的に合致するとして選ばれました。
(一社)日本ハンギングバスケット協会理事長賞	19	窓際レールシステ ム アルティマ グ リューネ・フェン スター	東京都墨 田区	株式会社アルティマ	ドイツでは古くから「ブルーメン フェンスター」と呼ばれる窓辺緑化があるが、日本版窓辺緑化と言える。屋外においてゴーヤ等で造る緑のカーテンの室内版でもあり、年間を通して楽しむことが可能である。ワイヤー式で透け感があり、緑越しに軟らかな光が室内に入る。吊り鉢型のシステムでは、上下にレールを取り付けると上下移動だけでなく横移動も可能で、室内からの窓掃除も容易である。全ての部材が容易に設置でき、移動できる構造でありレイアウトの変更は容易である。新たなハンギンググリーン手法の登場であり会の目的に合致するとして選ばれました。
屋内緑化推進協議会会長賞	26	安らぎと憩のある ロビー空間	埼玉県さい たま市	小岩井農牧株式会社 株式会社グリーバル	病院のエントランスに滝と壁面緑化を設けることで、水の落ちる音が病院の雑音をマスキングして病院とは異なる空間を演出している。ロビーの各所には植栽と一体化したベンチが有り、会計や薬局での待ち時間をゆっくりと過ごせる空間としている。植栽種は単なる観葉植物だけでなく、「実の付く熱帯果樹」「花の咲く観葉植物」「花が香る植物」を植栽し、通院者・入院患者が日々の植物変化を発見できる演出をしている。今後このような病院が多く出現することを願って選ばれました。